

- 1 単元名 わたしのお気に入りのあまんきみこ
～大すきなとう場人ぶつになりきって、音読げきをしよう～
- 2 教材名 名前を見てちょうだい（東京書籍2年下）
並行読書（あかいくつ、あしたもあそぼうね、きつねのおきやくさま）

3 目 標

- 物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- 自分の大好きな登場人物を音読劇で演じるという活動を通して、場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読むことができる。 (読むこと)
- 文の中にある主語と述語の照応関係に注意して読むことができる。 (1)ーイーア (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動とその特徴

小学校学習指導要領・国語の第1学年及び2学年「C読むこと」の指導事項の中から、特に「ウ場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」を取り上げて指導することをねらいとした。その際、「C読むこと」の言語活動例に示す「イ 物語の読み聞かせを聞いたリ、物語を演じたりすること。」を通して指導の効果を高めようと考えた。

言語活動例イに示す言語活動例を「あまんきみこの作品の中から自分が演じてみたい作品を選び、音読劇をする。」として具体化することにした。音読劇は、登場人物の動きを加えたり、音読の仕方を工夫することを通して、見ている人に様子が伝わるように演じるものである。本単元で取り上げる音読劇では、自分のお気に入りの場面を選び、叙述を根拠として、そこに登場する大好きな登場人物の行動を動作化したり、友達と役割を分担して声の強弱、間の取り方、速さ、抑揚などを工夫して音読したりする。このような活動を通して、本単元で児童に付けたい力である「登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読む力」を付けたいと考える。

(2) 単元設定の意図

児童は1年生時に「サラダでげんき」の物語で、登場人物の行動を手がかりに出来事の大体の順序をつかむ学習をしている。また2年生の1学期5月には「お手紙」で登場人物の行動を押さえながら場面の様子を読む学習をした。これらの学習を通して、場面の様子や登場人物の行動をつかみながら読めるようになってきた。しかし、登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読む力はまだ付いていない。

上記のような児童の実態から、本単元では、教科書教材「名前を見てちょうだい」やあまんきみこの他の作品を教材として活用したい。教科書教材「名前を見てちょうだい」は、場面の様子や登場人物の行動を把握しやすい物語である。場面の様子について豊かに想像を広げながら楽しんで読むことができると考える。さらに、並行読書で活用するあまんきみこの作品「あかいくつ」、「きつねのおきやくさま」、「あしたもあそぼうね」も教科書教材同様、場面ごとに新しい登場人物が出てくる構成になっている。これらの作品を取り上げることは、登場人物の行動や会話に着目し、楽しんで、場面の様子について想像を広げながら読むことにつながると考える。

指導にあたっては、まず第1次で、児童にあまんきみこの作品を紹介する。そして、単元の最後に音読劇をすることを伝える。第2次では、「名前を見てちょうだい」を読み、好きな場面について、登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考え、音読劇へとつなげていきたい。第3次では第2次の学習を生かして、並行読書して読んだ作品の中から好きな作品を選び、音読劇の発表会を行う。登場人物の行動や会話に着目し、その行動や会話をどう演じるか文章に即して考えることを通して「場面の様子について想像を広げながら読む力」を付けたい。

(3) 単元づくりモデル・四つの手立て・言語活動アイテムについて

本単元では、段階型モデル、手立て1、言語活動アイテムとして音読劇を活用して単元を構想す

ることとした。第2次では教科書教材を使って、自分の大好きな登場人物になりきって音読劇をすることを通して、場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目し、想像を広げながら読めるようにしたい。さらに第3次では、第2次での学習を生かし、あまんきみこの作品の中からお気に入りの場面を見付け、好きな登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考え音読劇を行う。これらの活動を通して、本単元で付けたい力に迫り、思考力・判断力・表現力を伸ばしていきたいと考えた。

5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとしている。 ②既習の経験を生かしながら、目的に応じた学習計画を立てようとしていたり、学習活動全体について目的と照らした振り返りをしたりしようとしている。	③登場人物の行動や会話に着目し場面の様子について想像を広げながら読んでいる。	④文の中における主語と述語の照応関係に注意して読んでいる。

6 指導および評価の計画 (15時間扱い)

【段階型・手立て1・音読劇】

次	時	学習活動・内容	評価規準【方法】
1 導入	1	【あまんきみこの作品にふれ、学習の見通しをもつ】 ○あまんきみこの作品のブックトークを聞く。 ○これからの学習の見通しをもつ。 ・学習課題「あまんきみこの作ひんの中から、お気に入りの作ひんをえらび、とう場人ぶつになりきって音読げきをしよう」を設定する。	②学習課題を意識して、演じてみたい場面を考えたり、学習計画を立てたりしようとしている。 【ノート】
	2		
2 習得	3	【「名前を見てちょうだい」を読み、お気に入りの場面を選び、大好きな登場人物になりきって音読劇をする】 ○「名前を見てちょうだい」を読み、あらすじや登場人物を整理する。 ○お気に入りの場面と登場人物の好きな行動を見付け、好きな理由をまとめ、紹介し合う。 ○お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考える。 ○選んだお気に入りの場面ごとにグループになり、音読劇の練習する。 ○他のグループと見せ合い、感想を交流する。	①物語を読み、登場人物の行動や会話に興味をもち、場面の様子を想像しながら楽しんで音読劇に取り組もうとしている。 【観察】 ③自分の大好きな登場人物の行動や会話に着目し場面の様子について想像を広げながら読んでいる。 【観察・音読劇台本】
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
3 活用	10	【あまんきみこの作品の中から好きな作品を選び、お気に入りの場面について音読劇をする】 ○自分のお気に入りのあまんきみこの作品を決め、お気に入りの場面を見付ける。 ○お気に入りの作品のあらすじ、登場人物の好きな行動、好きな理由をまとめる。 ○お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、動きや読み方を考える。 ○選んだお気に入りの作品ごとにグループになり、音読劇の練習をする。 ○音読劇を発表し合い、感想を交流する。	③自分の大好きな登場人物の行動や会話に着目し、場面の様子について想像を広げながら読んでいる。 【観察・音読劇台本】 ④文の中における主語と述語の照応関係に注意して読んでいる。 【観察】
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		

7 本時の学習

(1) 目標

自分たちのグループの選んだ場面の音読劇を互いに見せ合い、アドバイスし合うことを通して、お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、想像を広げて読むことができる。

(2) 準備

学習計画表、ノート、音読劇台本、黒板に掲示する場面絵

(3) 展開

【○補充的指導 ◎発展的指導 評価】

学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価 【方法】
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>音読げきをたがいに見せ合い、じ分のお気に入りの場めんのとう場人ぶつの行どうや会話がよかつたわるようにくふうしよう。</p> </div> <p>【きくひとによくつたえるために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声のおおきさやつよさ・よわさをくふうしよう ・まのとりかたをくふうしよう ・よむはやさをくふうしよう <p>2 音読劇の練習をする。</p> <p>(1) 練習の仕方や場所を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習終了時刻の確認 ・練習場所の確認 ・練習の仕方の確認 <p>(2) グループごとにお気に入りの場面について、音読劇の練習をする。</p> <p>【練習場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科室－1班, 2班, 3班 ・教室－4班, 5班, 6班 <p>【選んだ場面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1班 …えっちゃんがぼうしをもらったところ ・2, 3班…えっちゃんがきつねと出会ったところ ・4, 5班…えっちゃんが大男と出会ったところ ・6班 …えっちゃんがぼうしをとりもどしたところ <p>【予想される児童の練習の様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えっちゃんが、ぼうしをもらった時のうれしい気持ちをあらわしたい。 ・えっちゃんが勇気を出して、帽子を取り戻そうとしている気持ちをうまく出したい。 <p>3 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のアドバイスを取り入れて、えっちゃんのぼうしのもらい方を工夫して動きにあらわすことができた。 ・何度も練習して、大男の話し方をいばった感じで言うことができた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時では、お気に入りの場面の音読劇の発表に向けて、場面の様子がよく伝わるように登場人物の行動や会話の読み方について、付箋紙の書き込みを確認しながら、声の強弱や速さ、間の取り方に気を付けて練習することを確認する。また、見通しをもって活動ができるよう終了時刻と練習場所、練習の仕方についても確認する。 ・練習は、グループで見せ合い、視点に基づいて互いにアドバイスすることを通して、想像を広げて読むことにつながるようにする。 ・各グループごとに場面絵を掲示し、練習に対して意欲がわくように雰囲気盛り上げたい。 ・登場人物の行動や会話の読み方や動きの付け方を記入した音読劇台本を見ながら、グループで見合い、アドバイスしながら練習を進めるよう助言する。 ・練習をしていて、直したいところがあれば作成した音読劇台本に書き込んでいくことを伝える。 ・グループごとの練習場所は教室と生活科室とし、T1は教室、T2は生活科室を担当する。 T1・人数の少ない2班には、練習がスムーズに進められるよう役割の交代の仕方や練習の仕方を再度確認しながら進めたい。 T2・Bの児童がいるグループに付き、音読劇台本と一緒に読み、よく伝わる読み方ができるように見本を見せながら進めたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>③音読劇を互いに見せ合い、お気に入りの場面について、登場人物の行動や会話を基に、想像を広げながら読んでいる。 【観察・音読劇台本】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○付箋紙を確認し、どのような読み方をしたらよく伝わるか、教師が手本を見せたり、よくできていたところを褒めたりし、想像が広がるよう声かけする。 ◎繰り返し練習する中で、深まったことは音読劇台本に書き加えるなどして、更に読み方や動きが深めていけるように声かけしたい。 ・前時までと比べて工夫してできるようになったことが書けた児童を賞賛することで、音読劇にさらに工夫して取り組めるように方向付けしたい。